

1. 「フィジーと日本との貿易・投資シンポジウム」の概要

日程： 7月9日(月)～10日(火)

場所： フィジー・ナンディ

主催： フィジー外務省、同産業・貿易・観光省及び在日フィジー大使館

後援： 国土交通省、経済産業省及びJETRO

概要： シンポジウムは、フィジーでのビジネス機会や日本の投資家が関心を寄せるインセンティブ等の情報共有等を目的として、フィジー政府主催で開催され、コヤ産業・貿易・観光・土地・鉱物資源大臣、マタイトガ駐日フィジー大使、大村昌弘在日フィジー日本国大使のほか、多数のフィジー関係機関や日系企業が参加しました。

高橋政務官は、今月3日に約9年ぶりに再開した日・フィジー間の直行便就航を契機とした、両国の観光交流促進に向けたプレゼンテーションを行い、地元メディアを中心に大きな反響を呼びました。



2. 会談の概要

(1) コヤ 産業・貿易・観光・土地・鉱物資源大臣

日・フィジー間の観光交流促進に向け、2019年のラグビーW杯や2020年の東京オリンピック・パラリンピックの機会を捉えた一層の訪日を呼びかけるとともに、訪フィジー観光客増加に向けた取り組みとして、「ツーリズム EXPO ジャパン」(国際旅行博)の活用等を提案しました。



(2) コリタンガネ インフラ運輸省次官代行

今月3日に約9年ぶりに日・フィジー間の直行便が再開したことを契機に、二国間で人的交流に取り組むことで一致しました。また、ナンディ川の洪水対策など、インフラ・交通分野について意見交換を行いました。

